



因幡電機産業株式会社

部門まかせだったバックアップを「Z-BYS」で統合。
障害時の迅速・確実なシステム復旧を保証し、業務継続性と運用管理の効率化を両立

因幡電機産業株式会社様

電設・電子・情報機器販売、空調システム部材の製造販売を手がける因幡電機産業株式会社は、2006年にZ-BYSを導入し、各部門・拠点のファイルサーバの標準化と統合バックアップシステム構築を実施。その実績をもとに、2007年にはアプリケーションサーバの統合バックアップシステムの構築に取り組み、長年の課題だった業務継続性の確保を実現した。さらに、全社的なディザスタリカバリの実現に向けた検討を進めている。

セキュリティ対策として、ファイルサーバ・システムを構築



因幡電機産業株式会社 情報システム部
オープンネットワーク課長
森 佳一 氏



因幡電機産業株式会社 情報システム部
システムソリューション課長
藤幹 昌宏 氏

商社機能とメーカー機能を併せ持つ技術商社の因幡電機産業は、大阪に本社を置き、茨城、奈良、福岡に工場を、東京と大阪に物流センターをもち、全国26ヶ所に営業所および物流拠点を置いている。情報システム部は約40名の人員で、同社のすべてのシステムの企画・開発・運用を行っている。同部システムソリューション課がメインフレーム

上の基幹システムを、オープンネットワーク課がネットワークなどのインフラおよびオープン系業務サブシステムを担当。EDIシステムをはじめとして取引先と連携したり、基幹システムと連携するシステムも数多く、オープン環境におけるセキュリティの重要度は高まり続けている。

同社では、従来、ファイルサーバに関する構築基準がなかったため、調達は情報システム部が行っていたものの、納入以降の運用は各部門・拠点まかせだった。障害時の復旧やセキュリティ面での脆弱性が大きな課題となっていた。

情報システム部の藤幹 昌宏氏は、「以前は、バックアップ作業は担当者任せで、バックアップ媒体もDATでしたので、問題が起きたときに適切に対応できるという保証はありませんでした。情報システム部として、全社的なファイルサーバ・システム構築に乗り出しました」と語る。2006年にZ-BYSを導入し、各部門・拠点にファイルサーバを構築してエンドユーザへのサービスレベルの均一化を図るとともに、障害時の復旧を迅速に行える仕組みを整えた。

社名

因幡電機産業株式会社様
<http://www.inaba.co.jp/>

導入製品

Z-BYS

対象の環境

Microsoft SQL
Windows ファイルサーバ

取材時期

2009年5月

因幡電機産業について

因幡電機産業は、照明、発電設備、音響機器などの電気設備資材から半導体などの電子部品まで“電気”に関わる機器全般を扱っている業界売上No.1の独立商社です。「変革・情報・戦略」をキーワードに、商社でありながらトップクラスのシェアを誇る自社製品を開発し提供しているのが大きな特徴。



「Z-BYS」導入のポイントは、運用の容易さと迅速なリカバリ

導入のポイントは、「運用の負担をかけずに、いかにバックアップをとり、迅速なリカバリを保証するか」であり、「将来のディザスタリカバリも見据えて、テープ媒体ではなくiSCSI技術を選択した」という。

大阪に9台、東京に1台のファイルサーバを構築し、それぞれにバックアップサーバを1台ずつ導入。毎日各サーバのバックアップを取るとともに、ディザスタリカバリ対策の一環として、週1回東京・大阪それぞれの複製を取っている。

Z-BYS導入前は3世代分のバックアップしか保持していなかったが、2009年現在、ファイルサーバに関しては、1ヶ月=30世代分を保持。例えば、「あるフォルダだけのある時点に戻したい」という要望など、ユーザーにきめ細かく対応できるようになっている。

「ユーザが感じている一番のメリットは「安心感」ではないか。実際に、ハードディスクが壊れたことが何回かあったが、バックアップのおかげで対応できた」（森氏）。

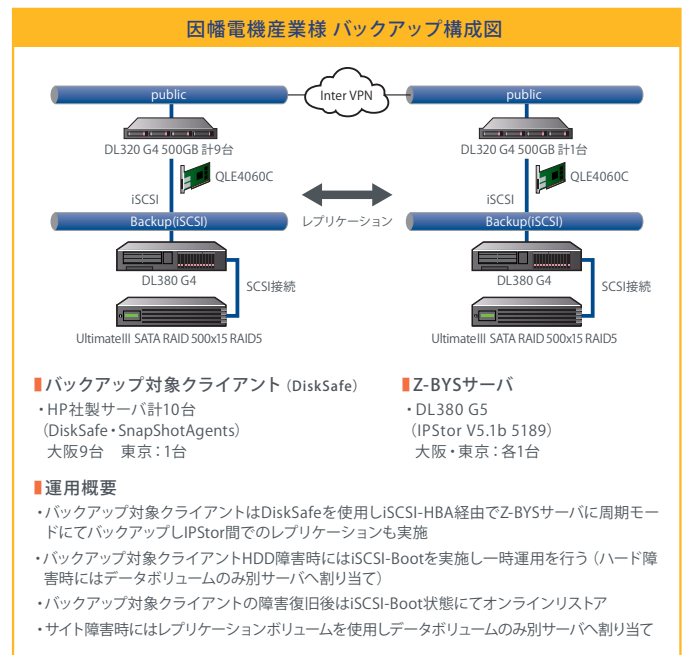
アプリケーションサーバのバックアップで業務継続性を確保

同社では、オープン系システムの比重が次第に増し、いまやネットワーク環境の中でクリティカルな業務サブシステムが稼動している。万一、このようなシステムに障害が起きれば、業務に支障をきたし、会社の信用にも影響することになる。ファイルサーバでの統合バックアップシステム構築によってZ-BYSに対する信頼度を深めた同社は、2007年に、長年の課題だったアプリケーションサーバの統合バックアップシステム構築に着手した。

森 佳一氏は、「アプリケーションサーバの場合、データもちろん大事ですが、システム環境そのものが重要です。全部丸ごとバックアップを取りたい、という思いがずっとありました」「以前はサーバの担当者任せでしたし、バックアップ媒体も統一されていませんでした。さらに、バックアップを取っても本当に元の状態に戻せるのか、という不安がありました。ファイルサーバでの実績からこれでいけると確信しました」と語る。

現在、EDIや受注システムといった対外的なシステムから、見積りシステムやデータウェアハウスなどの社内システムに至るまで、オープン系システムの約8割にこの統合バックアップシステムを適用している。

導入から2年経ち、Z-BYSによる統合バックアップシステムの適用は、2009年時点で当初の約3倍の30システムにのぼっている。



迅速・確実な復旧を保証 ～一番のメリットは「安心感」

顧客サポートに関しては、「サポート会社(ネクスト・イット社)とベンダー(ファルコンストア社)との連携もよく、未回答の案件もない。海外製のソフトウェアにありがちな対応の遅れもなく、満足している」(森氏)と評価している。

導入のメリットについて、藤幹氏は「不安を払拭できたことが一番大きい。データだけでなく、各種設定を含めたすべてのバックアップを取れるので、何かあっても確実に復旧できるという安心感がある」と語る。

実際に、あるシステムでサーバのミラー化を行っていたにもかかわらず、ミラー側のディスクも壊れてしまったことがあった。その際、統合バックアップシステムのおかげで、業務停止を避けることができた。「もし、Z-BYSを導入していなかったら対応できなかった」という。

統合バックアップ環境を整えた同社は、さらなる事業継続性の確保に向けて、ディザスタリカバリ・システム構築へと視野を広げている。

ファルコンストア・ジャパン株式会社

◆Z-BYSのコア・テクノロジーを供給する、バックアップ/リカバリのリーディングカンパニー◆

ファルコンストアは、統合バックアップ&リカバリソリューションのリーディングカンパニーです。ストレージ/ネットワークで豊富な経験と技術力を持つメンバーにより2000年に設立され、データ保護、ディザスタリカバリ、事業継続性を強力にご支援いたします。ファルコンストア・ジャパン株式会社は、100%出資子会社として2001年に設立されました。

FalconStor
Software

Next IT Inc.

ネクスト・イット株式会社

〒104-0004
東京都品川区南品川2-4-5 NAビル
Tel:03-5783-0702 Fax:03-5783-0734
sol@nextit.jp http://nextit.jp/

■お問い合わせは